

令和7年度島根県立大学人間文化学部
学校推薦型選抜 社会人・学士 帰国生 私費外国人留学生特別選抜
保育教育学科 小論文問題 出題意図

2024年11月実施

出題の意図

本問題は、谷川嘉浩『人生のレールを外れる衝動のみつけかた』（筑摩書房、2024年）の一部より採用した（一部改変）。

本書は、人生を動かす原動力となる「衝動」について複数の視点から論じたものである。本書では、外圧的な教育を「外在的アプローチ」と表し、村上春樹氏のランニングの事例を通して強制的な教育方法を否定している。筆者は「極端な外在的アプローチは、深い学びや達成をもたらさないどころか、苦行を課す行い」と断定する一方で、衝動だけに頼ることの危うさにも言及をしている。衝動のままに行動するやみくもな生き方を批判対象としている。保育者・教育者を目指すものとして、子どもの物事への興味・関心、疑問に対応する力と、教育方法の在り方について受験生に問いたい。

この出題を通じて専門的な視点で内容を読み取り、本題が伝えたい論点を整理して要約する力（読解力、分析力）、また自身の知識や経験に基づき、自分の考えを分かりやすく表現する力（論理的思考力、表現力）、最後に保育者・教育者になる上での態度・姿勢に関する捉え方（保育者・教育者としての価値観、資質）といった観点から、受験生が保育教育学科を志望する者としてアドミッションポリシーである思考力・判断力・表現力を有しているかを評価する。

採点観点

- 1) 問題文を的確に読み取って要約し、自分の視点による考察を知識や経験に基づいて提示しているか（設問との対応、視点、自分の考え）
- 2) 結論とその論拠を、論理的かつ説得力をもって展開しているか（論理化、展開、結論付け）
- 3) 正しく適切な語彙・表記により、分かりやすい表現ができているか（語彙力、表現力）